

地方創生事業好事例紹介
じゃぱにうむ
じゃぱにうむレビュー 第3回

デザインで地域と企業を応援するChange Maker
ヨツハシ株式会社

ヨツハシ株式会社

所在地：岐阜市黒野南1丁目90番地

代表者：代表取締役社長 四橋 英児

従業員数：120名（2021年3月現在）

企画・デザイン力を活かした酒類販売

ヨツハシ株式会社は、ラベル・パッケージ事業、広告宣伝事業、地域活性化事業を3本柱として事業活動を行っている。

ラベル・パッケージ事業では、お菓子などのお土産品から飲食物以外の製品（化粧品、医薬品、サプリ、工業品等々）まで幅広いジャンルでのラベル・パッケージを制作しているが、ヨツハシが最も力を入れているのが、日本酒を中心とした様々な酒類から醤油、お酢などの調味料にいたるまでの紙ラベルやシールラベル、箱などのパッケージの制作・印刷。「八海山」や「十四代」などの全国区の日本酒から地酒まで、箔押しなど特殊印刷の技術や和紙などの取り扱い、表示規定に関する知識も含め、日本酒で培った経験と知識を駆使しお客様の要望に+αの提案をするとしている。



美濃三武将『兵どもの夢』300ml 3本セット

そんなヨツハシが立ち上げたお酒の通販サイトが「4284 SAKE PLAZA」。ヨツハシは、2019年に「通信販売酒類小売業免許」を取得し、ネット上での酒類販売を始めた。ただ単に地元のお酒を並べて販売するのではないところが面白い。ヨツハシでは、醸造メーカーの協力のもと、自社の企画力・デザイン力を活かして制作した限定商品の販売を進めており、現在は、明智光秀にゆかりのある岐阜をPRすべく、戦国武将をフィーチャーしたオリジナル商品を販売。その一例が、「美濃三武将『兵どもの夢』300ml 3本セット」。

岐阜県可児市の酒蔵林酒造の酒には、「明智光秀～天下平穩の夢～」というネーミングを与え、岐阜県岐阜市の日本泉酒造の酒には「織田信長～天下布武の夢～」、岐阜県大垣市の三輪酒造の酒は「斎藤道三～国盗りの夢～」と銘打った。「道三が築き、信長が創り、光秀が駆け抜けた岐阜。それぞれが抱いたはかなくも壮大な夢、その余韻を楽しむ美酒をお届けします。」の説明文に購買意欲をくすぐられる。それぞれの酒蔵では思いつかない発想力と、それらをひとつのパッケージ商品としてまとめあげるコーディネート力。正に印刷会社には出来ない仕業だ。

お酒×デジタルで新たなビジネスの開発・展開

このお酒の通販サイト「4284 SAKE PLAZA」では、日本酒の他にワイン、飛騨牛を使った肉味噌の瓶詰や酒米である山田錦といったお米まで扱って

いるが、「周年記念酒」という商品も出品されている。これは、酒類の拡販を目指して、周年記念式典の記念品等、周年記念に対応したオリジナルのお酒が1本からでも気軽に手配することが可能な仕組みだ。専用の日本酒、赤白ワインに、サイト上に用意されたラベルのテンプレートを選び、企業名・店名、周年数、記念日を入力すれば簡単に周年記念イベント用のお酒の手配が可能だ。

そして、ラベル・パッケージ事業では、更に興味深い取り組みを行っている。お酒の販売に役立つ便利グッズを販売する包装資材通販サイト「酒GOODS」だ。

このサイトには、封緘シール、証紙シールのほか、送品・贈答用のケース、ボトルの首にかけるPOP等、ヨツハシのオリジナル製品が盛り沢山。前述のお酒の通販サイト「4284 SAKE PLAZA」と相まって、酒を中心にして、地元の酒蔵だけでなく、酒販売店への支援も併せて、地域経済の活性化に取り組んでいる。

これらは、まさしく代表取締役の四橋英児が言う「デジタル社会の真只中で情報文化産業の担い手として、時代の要請に応え続けていく」取り組みにほかならない。

自治体・地域住民双方になくてはならない生活情報誌の発行

ヨツハシが掲げる事業の3本柱のうち、地域活性化事業では、衣食住から岐阜の最新情報まで、暮らしに役立つ情報が満載の生活情報誌の発行を手掛け、地域経済の活性化に向けて広告事業を展開している。

創刊から30年となる「月刊ぷらざ」は、若い世代から年配の方まで、特に女性を対象に、旅、飲食店、美容、健康等の幅広いジャンルの情報を提供し、潤いある暮らしを提案する情報誌。岐阜市を含む県内10市町に572ヶ所もの設置店舗・施設を抱えている。2021年1・2月合併号は、84ページにも及ぶ相当量のコンテンツが並ぶが、広告と記事とが絶妙な塩梅でミックスされている。グルメの記事の中には、前述したヨツハシのお酒の通販サイト「4284 SAKE PLAZA」への誘導用のQRコードを埋め込むことも忘れていない。また、「岐阜関ヶ原古戦場記念館」などの観光スポットの紹介の他にホテルの案内までが網羅され、旅のガイドブックとしての機能も兼ね備えている。そして、「岐阜県だより」、「岐阜市だより」といった自治体からの情報にもページを割き、なくてはならない生活情報誌として認知されている。しかも、この「月刊ぷらざ」は、印刷用紙には製造時の環境負荷が少ないバージンパルプを使用、刷版にもリサイクル版を用い、インキもベジタブルインキを使用する等、環境にも最大限の配慮をしているとのこと。更には、この「月刊ぷらざ」は10年前の東日本大震災までは30万冊を全戸配布していたが、震災をきっかけに環境負荷などを考慮し、読みたい人が自分で取りに行き読むべく、置き本形式に切り替えている。

これまでにない新たな発想と地域のステークホルダーを上手に巻き込んでドライブさせていくChange Makerヨツハシの今後に期待したい。生活情報誌「月刊プラザ」



包装資材通販サイト「酒GOODS」

